

飯田市 Web 口座振替受付サービスについて

1 目的

現在、市税等の納付に関する口座振替を申込は、3部複写の「口座振替依頼書」を作成し、通帳印を捺印の上、郵送または窓口へ提出する方法で行っているが、納税通知書、スマートフォン等のWeb接続環境、メール利用環境、キャッシュカード及び4桁の暗証番号があれば、在宅のまま口座振替の申し込みができるサービスを利用することで、市民サービスの向上を図ることを目的とする。あわせて、職員が行う事務の一部の効率化及び事務ミスの縮減も目的とする。

2 対象税目等 (9科目)

個人市県民税、軽自動車税、固定資産税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料、保育料、水道料及び下水道使用料、市営霊園管理料

3 対象金融機関 (7機関 飯田市指定金融機関及び収納代理金融機関)

八十二銀行、長野銀行、飯田信用金庫、長野県信用組合、長野県労働金庫、みなみ信州農業協同組合、ゆうちょ銀行

4 開始予定日 令和6年2月1日

5 利用サービス

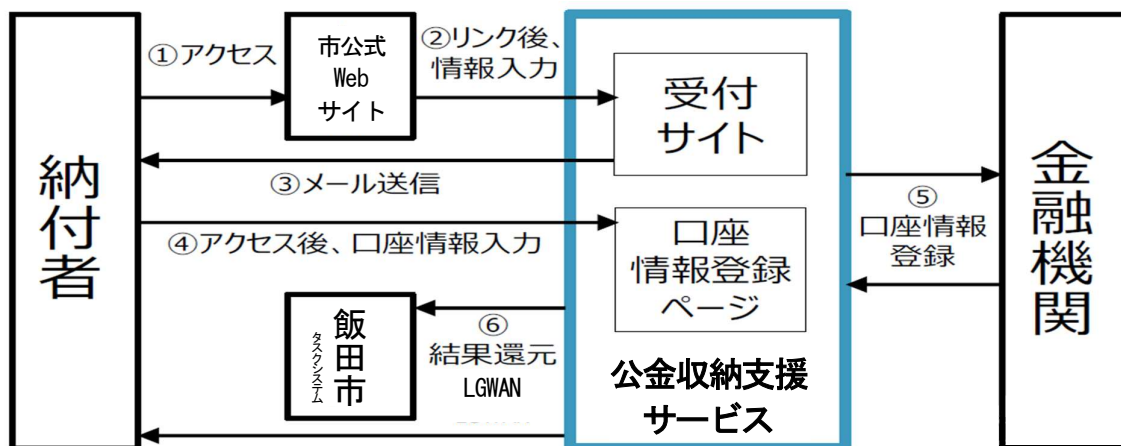
(1) サービス名 公金収納支援サービス (自治体向け Web 口座振替受付サービス)

(2) 機能 納付義務者等の口座振替申込を Web ページ上 (押印不要) で受け付ける。
ただし、1税目ごと口座情報登録が必要、解約は「口座振替依頼書 (3部複写)」提出。

(3) 事業者 ヤマトシステム開発㈱ (認定個人情報保護団体加入確認済み)

※ 認定個人情報保護団体とは、業界・事業分野ごとの民間による個人情報の保護の推進を図るために、自主的な取り組みを行うことを目的として、個人情報保護委員会の認定を受けた法人をいう。

(4) サービス利用後のフロー



6 経費

- (1) 令和5年度予算額 8,019千円
- (2) 初期導入費用 6,700千円(概算)(受付サイト環境設定費、金融機関設定費など)
- (3) サービス月額基本料 110千円×2カ月(2月～3月分)
- (4) 手数料(従量制) ヤマトシステム開発(株) 1件110円、金融機関 1件100円～220円

7 「口座振替依頼書(3部複写)」からの変更点

- (1) 金融機関や市役所への来庁不要(Webページ上から手続き可能)。
- (2) 通帳印無しで手続き可、登録が即時に完結(サービス利用開始前は最長1カ月→2週間で確認できる)。
- (3) 金融機関においては、窓口対応時間および申込書(控)を本店に集約する事務等が軽減される。
- (4) 飯田市へはデータ提供となる(窓口対応の時間が削減されるが、利用者への電話確認等の事務は発生)。

8 スケジュール

- 10月～ 各金融機関との各種設定シート確認及び接続試験準備
- 11月～ 受付サイト設定、構築、還元データ等の検証
- 12月～ 金融機関接続試験実施
- 12月11日 飯田市議会総務委員会協議会にて報告
- 令和6年
- 1月～ 本番環境リリースフィールドテスト
- 1月5日 定例記者会見にてプレスリリース
※その他、広報いいだ1月号、市公式Webサイト、飯田市公式LINEで広報
- 2月1日 運用開始予定

9 納税課窓口での対応

タブレット端末を設置し、窓口でも「書かない窓口体制」を推進する予定

< 参考 >

○令和4年度口座振替実績

市県民税 40.97% 固定資産税 64.79% 軽自動車税 25.14% 国民健康保険税 72.18%
後期高齢者医療保険料 75.14% 介護保険料 42.80% 上下水道料 75.24% 保育料 91.31%
市営霊園管理料 58.04%

○導入自治体

全国114自治体導入(令和5年11月現在)。県内は長野市、辰野町が導入済み。